

内容

第1部では、※最先端研究開発支援プログラム(FIRSTプログラム)にて『世界のトップを目指す30の最先端研究課題及びそれを実施する中心研究者』のひとりとして選定された、東京大学大学院工学系研究科 水野哲孝教授より『次世代の高性能蓄電デバイス開発』と題し、このような研究を行うに至った経緯とその戦略についてご講話をいただきます。

また第2部では、地元関係企業並びに北陸先端科学技術大学院大学関係者により開発が進められている次世代電池材料等のご紹介や、これら材料を用いた試作電池の展示を兼ねた交流会を行う予定です。

皆様におかれましては、情報収集やネットワーク拡大、更にはビジネスチャンスと捉えていただき、是非とも多数のご参加をお願い申し上げます。

講師のご紹介

東京大学大学院工学系研究科 水野 哲孝 教授

昭和60年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、同年 東京大学工学部合成化学科助手、平成2年 北海道大学触媒科学研究所助教授、平成6年 東京大学生産技術研究所助教授、平成8年 東京大学大学院工学系研究科助教授、平成13年より東京大学大学院教授 現在に至る。

平成3年 日本化学会進歩賞、平成9年 触媒学会奨励賞、平成18年 第13回日産科学賞、平成20年 第7回グリーン・サステナブル ケミストリー賞、平成21年 第79回服部報公賞、平成22年触媒学会賞

※最先端研究開発支援プログラム(FIRST)

最先端研究開発支援プログラム(FIRST※)とは、世界のトップを目指した先端的研究を推進し、様々な面でのわが国の中長期的な国際競争力、底力の強化を図る目的で、平成21年度補正予算で国が創設したものです。その研究開発成果は、国民及び社会への確かな還元を目的としており、従来の制度とは異なる「研究者最優先」の研究支援制度となっています。※FIRSTとは、Funding Program for World-Leading Innovative R&D on Science and Technologyの略称です。

水野グループでは既存の電池材料にとらわれず、本来の電池のあるべき姿から電池材料を原子・分子レベルで設計・合成することにより、ポストリチウムイオン電池開発を目指し(i)原子・分子レベルでの合理的デバイス材料設計(活物質、電極、電解質、セパレータ等)、(ii)新原理蓄電池の開発、(iii)高度な分析・解析技術の開発、(iv)材料計算・シミュレーション技術の開発という基盤的研究を行っています。

参加申込書

企業名等

住所	TEL	FAX	
所属・役職	氏名	E-mail	交流会

お申込みはEmailまたはFAXで

(展示・交流会の出欠は○×で記入下さい。)

E-mail : matching@jaist.ac.jp

FAX : 0761-51-1944

お問い合わせ先

北陸先端科学技術大学院大学(JAIST) 先端科学技術研究調査センター

TEL:0761-51-1928 担当:中嶋